日本専門学院においてコンテンツ業界の技を向上させたいです。

企業様・諸君たち、

活躍お疲れ様です。お世話になっております。

元横浜デザイン学院の留学生、マーク ジェファソン チンでした。

ちょっとお願いがあって連絡したのだけど…突然ですが率直であり初対面に対して

の不躾ながら奨学金を請い文献を送りしております。

正直に厚かましくておこがましいです。

年齢や身分を基準にし、生涯の希望や運命が決められるなんて気概深いです。専門

学院へ通えること、人脈を築き上げること、先生と雑談を設けること、自由に複数

専攻に参加すること、金銭無しの理由を盾にし、その活動を楽しめる権利を人から

奪われるなんて気概深く痛感します。

クラウドファンディングサイトREADYFORにて、学費調達のための資金を集めるべ

く、クラウドファンディングに挑戦します。

お読みいただき共感が湧いたら支援に至ってくだされば何より感謝の気持ちを申し

上げます。大変恐縮ですが公開日（2月14日 から)、私のクラウドファンディングを

ご支援していただき、背中を押していただけないでしょうか。

最低限でも拡散してほしいところです。できれば公開直後、五日間に２０～３０％

達成率を目指すべきですと担当者から示唆してくれました。できる限り、この願い

の文献を多くの人々にお知らせしたいと思います。

時間を削られちゃって申し訳ございません。

最後まで読んでいただきありがとうございます。

どうかご支援のほど、よろしくお願いします。

詳細：公開までのプロジェクトページ（https://readyfor.jp/projects/82752）

本番URL（https://readyfor.jp/projects/82752/preview?preview_token=5a1ed264d639519deb0bff71efa2eae2c5fe7e85）

また失礼いたしました。

＝＜クラウドファンディングについて＞＝＝＝＝

「ALL or NOTHING」という仕組み上、目標額に1円でも到達しないと不成立になってしまい、

それまで集まった支援金が全額キャンセル（返金）となります。

＝＝＝＝＝

日付：2022年2月18日

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com